

平成24年度 食品検査



1 残留農薬

平成24年度は野菜や果実等の農産物118検体（国産品100、輸入品18）について延べ11,820農薬の残留農薬検査を行いました。検査の結果、118検体中50検体（検出率42.4%）から延べ112農薬が検出されました。食品衛生法に定められている残留基準を超えたものは、1検体あり春菊でした。検出した農薬のほとんどは基準値の1/10から1/100の低い値でしたが、今後も継続して監視する必要があると考えます。

残留農薬検査結果の概要

	国内産		輸入品		全体	
	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数
野菜	48	5760	4	480	52	6240
果実	22	2640	14	1680	36	4320
玄米	10	1200	-	-	10	1200
畜肉	20	60	-	-	20	60
合計	100	9660	18	2160	118	11820
農薬検出数	36	85	14	27	50	112
検出率(%)	36.0	0.9	77.8	1.3	42.4	0.9
残留基準超過数	1	1	-	-	1	1

2 放射性物質検査

平成24年度は流通品の一般食品、牛乳、飲料水、きのこの95検体、および野生のキノコ22検体の放射性物質（放射性セシウム）の検査を行いました。その結果、流通品については95検体中24検体（検出率25.3%）からセシウムが検出されましたが、食品衛生法に定める基準を超えたものはありませんでした。また、9月から10月に行った野生きのこの検査では、22件体値中17件体（検出率77.3%）から放射性物質を検出し、2件体が基準値を超えました。

流通品放射性物質(セシウム)検査結果の概要

品名	一般食品	牛乳	飲料水	きのこ
検体数	79	11	2	3
検出数	14	7	0	3
検出率(%)	18	64	0	100
基準超過検体数	0	0	0	0
基準値(Bq/kg)	100	50	10	100

野生きのこ放射性物質(セシウム)検査結果の概要

品名	野生きのこ
検体数	22
検出数	17
検出率(%)	77
基準超過検体数	2
基準値(Bq/kg)	100

3 動物用医薬品



平成24年度は、県内産養殖魚（3検体）、県内産鶏卵（10検体）、肉類（6検体：牛肉3検体、豚肉1検体、鶏肉2検体）について延べ1,117項目の動物用医薬品の検査を実施しましたが、すべて不検出でした。

動物用医薬品の検査結果

品名	検体数	検査項目数	検査結果
県内産養殖魚	イワナ	2	}
	コイ	1	
鶏卵	10	66	}
牛肉	3	67	
豚肉	1	67	
鶏肉	2	67	
合計	19		





4 食品添加物

平成 24 年度は、合成保存料 18 検体、酸化防止剤（TBHQ）5 検体、合成着色料 8 検体について、検査を行いました。その結果、食品衛生法で定める使用基準、表示基準に違反した食品はありませんでした。

食品添加物検査の概要

種類	検体数	検査項目	検査結果
保存料	18	安息香酸、ソルビン酸、パラオキシ安息香酸エステル類	使用基準及び表示基準違反なし
酸化防止剤	5	tert-ブチルヒドロキノン	
着色料	8	食用赤色2,3,40,102,104,105,106号、黄色4,5号、緑色3号、青色1,2号	
合計	31		



5 遺伝子組換え食品

平成 24 年度は、とうもろこし加工食品（3 検体）を対象に検査を行いました。その結果、とうもろこし加工食品では未審査組換え体 Bt10 が検出された食品はなく、表示が適正に行われていることが確認されました。

遺伝子組換え食品の検査結果

品名	検体数	検査項目	検査結果	
			不検出	検出
とうもろこし加工品	3	未審査組換え体Bt10定性	3	0
合計	3			

5 アレルギー物質

平成 24 年度は、「そば」混入のおそれのある小麦粉食品 15 検体（うどん等乾麺）及び「小麦」混入のおそれがある米粉食品 3 検体、いずれも県内で製造された食品 18 検体をキットによるスクリーニング検査及び PCR 法による確認検査を実施しました。その結果、スクリーニング検査および確認検査で 18 検体中 4 検体が陽性と判定されました。当該検体は、製造所業者に対して保健所から注意喚起表示をするよう指導が行われています。

アレルギー物質の検査結果

品名	検体数	そば陽性	小麦陽性	備考
うどん	6	3	-	注意喚起実施
ワンタン	1	0	-	
中華そば	6	0	-	
じゃじゃ麺	1	0	-	
ひやむぎ	1	0	-	
計	15			
米粉シフォンケーキ	1	-	1	注意喚起実施
和菓子	2	-	0	
計	3			
合計	18			

